

## 2022-23年度12月度 理事役員会議事録

開催日時:2022年12月22日 11時より 開催場所:ロイヤルパークホテル 4階「琥珀の間」  
出席者:原田、金子、波多野、田中、岡本、三宅、水谷 委任状出席: 石渡、林、野木

### (1) 審議・報告事項

①1月度プログラム予定:承認

②11月度会計報告:承認

③年末家族会の決算について:赤字分について基金口にて補填することを承認

④オープン例会の日程に関しまして(2月2日から3月9日に変更):承認

⑤2023-24学年度、米山奨学生の世話クラブ受入、カウンセラーについて  
受け入れることを承認、カウンセラーは金子会員が引き受けられることとなりました。

### RI会長からのメッセージ(2023年1月)

2022-23年度会長 ジェニファー E. ジョーンズ

ロータリーでは最近会員にアンケートを行いました。その結果には、意外ではないとはいえ、リーダーたちの多くが思わず目を見張るものがありました。それは、会員満足度の最も重要な要因はクラブ体験だということです。クラブがどれだけ居心地よく感じられるか、クラブの例会がどれだけ意義のあるものか、どれだけ奉仕プロジェクトに関わっていると感じるか。

私は今年、この事実をロータリーの世界で目の当たりにしてきました。クラブとの絆を実感すると、会員はクラブを去ろうとは思わなくなります。そして、そういう絆は「ロータリーならではの瞬間」に築かれるものです。つまり、人と人との特別なつながりと自分たちの奉仕のインパクトを感じる瞬間のことです。イマジン・インパクト・ツアーでは、そういうロータリーの瞬間に光を当てて、会員の皆さんに自分たちのストーリーを語ることを促します。

しかし、そういう絆を作り、維持するのに大きな効果があるものがほかにもあります。それは、ロータリアンにとっても、ローターアクターにとっても、居心地のよさと配慮です。私のロータリー仲間のトッド・ジェンキンスさんが言うように、「人々はあなたの頭の中をのぞくことはできませんが、あなたの行動は見ることができます」

私たちが扱うのは人間関係です。お互いを大切にしあい、お互いに心からの気遣いを示すことができれば、一生の友達ができ、その友情の輪を広げるために何でもするようになることでしょう。

大事なものは、どうすれば日々の暮らしの中で大切なことを見逃さず、本当に大切なことのために行動を起こせるか、なのです。その答えは、お互いのために時間を使い、積極的にお互いの話を聞き、入会時期や役職にかかわらず、すべてのロータリー会員を等しく価値のあるものとして扱うことにあります。

私やほかのロータリーの指導者たちは、皆さんのクラブ体験をより価値あるものにする方法について、いろいろなアドバイスを提供することができます。しかし何より大事なのは、全ロータリークラブの全会員が声を上げて、お互いの話を聞くことです。ロータリーでの活動から得たいものをロータリー仲間と共有し、それを実現するためのオープンな話し合いをすることを恐れるべきではありません。

ロータリークラブを率いるというのは、そのような対話を促し、新しいアプローチを積極的に試みることなのです。優れたリーダーシップとは、与えることです。ほかの人びとを支えること。ほかの人びとに勝利を味わわせること。

最後に、クラブのリーダーたちにお願ひがあります。女性会員の増強に、世界中でもっと注力するべきです。今年は少し女性の会員数が増えています。もっといい結果が出せるはず。ロータリーは再び成長のときを迎えています。執筆時で、会員数120万人を再び超えるのあとほんの少しのところまで来ています。ですから、大勢の新会員をクラブに迎え入れて、一生ロータリー活動を続けてもらえるように、気を配って快適なクラブ体験になるように、これまで以上に頑張ってください。

## ニコニコボックス

原田 俊彦君  
波多野幸雄君  
森 達郎君  
岡本 隆一君

本日は会長代理を務めます。皆さん、よろしくお願ひします。  
「半期を顧みて」会長分は私が原稿を朗読します。私は半期を反省してお話します。  
本日は、石渡会長、波多野幹事、半年お疲れ様でした。あと半年、頑張ってください。  
石渡会長、波多野幹事、半年お疲れ様でした。後半もよろしくお願ひします。  
皆様、良いお年をお迎えください。

武内 次男君  
三宅 郁子君  
工藤 久志君  
水谷 文彦君  
金子高一郎君  
土屋 東明君

皆様、良いお年をお迎えください。  
本日の卓話、波多野さん、よろしくお願ひします。  
会長様、幹事様、本日は宜しくお願ひします。  
会長様、幹事様、半年お疲れ様でした。  
石渡会長、波多野幹事、半年お疲れ様です。また、半期宜敷くお願ひします。  
皆さん、よいお年を!!

合計 20,000円

WEEKLY REPORT

東京ベイロータリークラブ

TOKYO  
BAY  
ROTARY  
CLUB

国際ロータリー 第2580地区 東分区  
VOL.32 NO.20 第1412回 2023年1月12日



Imagine Rotary  
ジェニファー・ジョーンズ会長  
(ウインザー・ローズランドRC カナダ・オンタリオ州)

Take Action for Rotary Future  
Reach Out for World Peace 第2580地区ガバナー  
ロータリーの未来のために行動しよう 嶋村文男(東京東江戸川RC)  
世界の平和のために手を差し伸べよう

未来に繋ごうロータリー 会長 石渡 秀雄

本日のプログラム

職業奉仕フォーラム

次回以降のプログラム

19日 第5回クラブ協議会

26日 卓話:井上慶亮会員

2022年12月22日  
第1411回 例会報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正出席率
16人	11名	68.75%	12月8日 100%

■ 点 鐘

■ ロータリーソング「それこそロータリー」

<会長・幹事報告>

・本日、例会に先立ち、12月度理事役員会が開催されました。  
(詳細は裏面をご覧ください。)

<伝達・認証>

・ポールハリスフェロー認証状及びバッジ伝達 武内次男会員(PHF3)

<卓話>

・12月22日の卓話は、会長・幹事による「半期を顧みて」でした。  
(詳細は中面をご覧ください。)



■ 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
■ 例会場 〒103-8520 東京都中央区日本橋蛸殻町2-1-1  
ロイヤルパークホテル TEL 03-3667-1111(代)  
■ 事務局 〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-1-5 Aビル6F  
TEL 03-5637-4608 ・ FAX 03-5637-4611  
E-mail tokyobay@club.email.ne.jp

■ 役員 / 会長 石渡 秀雄  
会長エレクト 金子高一郎  
幹事 波多野幸雄  
副幹事 水谷 文彦  
会報委員長 石渡 秀雄



## 「半期を顧みて」

会長 石渡 秀雄

本日は8年ぶりに受注したジブチ共和国の巡視艇建造の契約調印式・ランチレセプションの為に例会に参加出来ずに大変申し訳ございません。同国の巡視艇は私が東京ベイロータリークラブに入会した年に受注し、イニシエーションスピーチで同国の事を話したと思ひます。本件は翌年の2016年にJICA(国際協力機構)理事長賞を受賞し当社にとっても思い出の深い船となっております。

さて、波乱の幕開けとなった今年度ですが会長としての研修は2021年5月より始まり、それがいつの間にか「ブレPETS」と名前が変更になり、沖縄で予定していたリアル会合での「PETS」もオンライン開催になり、リアル面談もあまり無いままに会長年度を迎えました。今年度は地区大会の早い段階での開催であったり、エンドポリオの募金活動だったり半期で色々なイベントが重なりあつという間に半期を迎えた感じてました。東京ベイとしては近年例会も「流行病」による例会中止が続き会員相互の交流親睦の機会が激減したことでのモチベーションの低下は否めずどのようにしたら今までどおりの楽しいクラブ運営を取り戻せるかを考え、今まで通りのペースに戻すべく今年の会長方針を「未来に繋ごうロータリー」としました。16名でのスタートとなりましたが、なるべく今まで無かった事を実践してみようと考え、私の友人であるモータージャーナリストのカズ中西氏の卓話をお願いし私の趣味の世界にはなってしまいますがオートバイの現状をお話頂きました。また各委員や事務局より福祉や障害者についての卓話が多い年ではありました。ジャパンハートの活動内容については当クラブとして何か協力出来ないか検討する機会も生まれグローバル補助金の活用が出来ないかと現在調査を行っています。また老人ホームに関しては予想以上の反響でその後の現地見学会まで行う事が出来、実際に入居されたご家族もいらっしゃいました。

現在、関係各所と調整中ですが、本年度は6月にIMに変わる合同例会が開催しますが、同日に行われる社会福祉フェスティバルで当クラブとしても福祉、障害者に何か協力出来るか否か策定中です。

さて、年明けからの半期について、1ヶ月に1回、例会の卓話を皆様にお願ひしようかと思います。現在、東分区の会長幹事会において各クラブの会長・幹事が10分間のイニシエーションスピーチを行っています。これが非常に好評で各クラブの内情、様子を話すのではなく会長、幹事個人、仕事の事を中心に話しをしております。ロータリー活動の紅顔となる自身の生業や仕事観をお話頂いており今まで無かった事で非常に興味が湧きます。東京ベイでもイニシエーションスピーチ以外で自分の事を話していないと思いますのでクラブ会員の相互理解を深める為、一人10分を目処に自分の事についてスピーチをお願いします。自分の宣伝をして頂く様にロータリーの事では無く自身の事、職業についてお話をお願い致します。会員それぞれの事をより深く知って相互理解を含め今後のクラブ運営のプラスになれば良いかと思います。

今年度は地区大会もガバナー公式訪問も終了しあとは半年間気楽にすごそうかと思ひきや我々には来年度大きな使命があります。「地区大会ホストクラブ」です。第2580地区は70クラブあるので70年に1回の行事なので次回ホストにある時期には今のメンバーはほぼ居ないと思ひますが、会員数が少ないクラブでも立派にホスト出来る事を証明するために準備を進めて行きましょう。分区内クラブの江東RC、城東RCを初めとする大澤ガバナー補佐グループ傘下の各クラブの協力して頂ける様ですのでしっかりと内容を固め皆様に協力頂ける様にしたいと思ひます。私の年度内に出来る事をしっかりと見据え次年度に引き継ぐと共に三宅実行委員長をクラブ全員でフォローして行くように改めてご協力の程、よろしくお願ひ致します。

3月以降にはオープン例会を予定しています。入会希望者や可能性のある方を招待いただく様によろしくお願ひ致します。

残りの半期、精一杯努めますので皆様よろしくお願ひ致します。

以上

## 「半期を顧みて」

幹事 波多野幸雄

始めに私事ですが、今年度は3回入退院を繰り返し、後の2回は幹事の立場にしながら皆様に大変ご迷惑をお掛けした事申し訳なく思っています。家内に言わせると今年度は健弱の年に当たるようですが、それはそれとして大事に至らなかったことは幸だったと思ひます。来年度は達成の年だそうでいい年になることを願っています。後半頑張ります。

7/7 年度早々コロナに感染して9日間の入院を余儀なくされプログラム上は会長・幹事の就任挨拶の予定になっていたのですが実行できずご迷惑をお掛けしました。一方、コロナはアメリカの治療薬レムデシベルが良く効いたおかげで予想より早くなおりました。

9/8 今度は帯状疱疹になって入院しました。その間(9/9-9/10日)大事な地区大会がありこれに出席できなかったのは誠に残念でした。またもや皆様にご迷惑をおかけした事お詫び申し上げます。

以降、半期の卓話を中心にお話したいと思ひます。

右上に続く

7/28 三宅さんの紹介で特定非営利活動法人ジャパンハート理事長 吉岡春菜様に卓話を頂きました。

この卓話は海外(特にミャンマー)で病気に困っている人たちを無償で治療している吉岡秀人医師の話です。創立者 吉岡秀人医師1995年 吉岡医師はミャンマーに渡り無償の医療支援を開始しました。2004年 特定非営利活動法人ジャパンハートを設立しました。そして、その後700人の医師が協力して無償の医療活動を行っています。今ではミャンマーだけでなくカンボジアやラオスへと拡大しています。吉岡医師は2021年「第69回菊池寛賞」を受賞しました。

本法人は、多くの人の寄付を必要としている状況で、三宅さんの意向ではグローバル補助金を検討したらどうかというお考えがおありのようです。話それますが会長・幹事会で石渡会長がこのことを皆さんに話したところ、大澤ガバナー補佐が大変興味を示しておられました。我がクラブとしては是非実現するよう三宅さんを応援していきたいと思ひます。



#参考までに、無償といえば国境なき医師団があります。

フランスで設立された団体で、民間で非営利の医療、人道援助の団体で、独立、中立、公平な立場で緊急医療援助を届けております。日本にも事務所があり私も一度だけ寄付したことがあります。

8/4 東京都立永福学園指導教諭鹿島田真由美様(奥さんのお姉さん)による卓話

発達障害児即ち学習や行動に困難のある発達障害児に対して専門的職業教育を実施している学校の実態についてご説明頂きました。生徒たちが職業教育を受けることによって立派な社会人になっていく様はまさに教育の大切さを教えられた思いであります。

10/13 全国重症心身障害児(者)を守る会 山本圭美(よしみ)様、安部井聖子様による卓話

この会には野木さんからのマスク寄贈から始まって、それから土屋さんと原田さんが当法人、「全国重症心身障害児(者)を守る会」のあけぼの学園を訪問され、先方のニーズを伺い、地区補助金を使って、二酸化炭素測定器と非接触消毒器を贈呈しました。我がクラブとしては久しぶりに地区補助金を活用した案件でありました。この全国重症心身障害児(者)を守る会は昭和39年結成されました。当時は「社会に役に立たないものに国のお金は使えません」という風潮の中で「どんなに障害が重くても真剣に生きているこの命を守ってください」という運動が認められて、昭和41年 社会福祉法人の認可を受けたのであります。

令和4年 当法人 障害児者数:9,676人です。

先日の阿部井聖子さんの卓話は自分の子供である障害児をどのように育ててきたか葛藤の日々を話されました。大変身につまされるお話でした。

この会にマスクを寄贈された野木さん、二酸化炭素測定器及び非接触消毒器を寄贈の為努力された土屋さん、原田さんに感謝申し上げたいと思ひます。

半期の卓話は国内、国外問わずハンディキャップ(病気している人、身体障害児等々)を持っている人々に対してどうあるべきかを問うテーマが多かったように思ひます。我がベイとしてもこれを機会に今後のありようを考えるチャンスだと考えてまずは三宅さんがいうグローバル補助金に挑戦してみようありませんか。

10/23 ポリオ(小児麻痺)デーに石渡会長・幹事が街頭募金に参加、もう一つは原田さんが荒川ロータリー主催のポリオ撲滅のイベントに参加されたという話です。

END POLIO NOWの赤シャツを着て街頭に立って募金を呼びかけました。特に石渡会長が大きな声で“ポリオ撲滅のため募金活動を行っています”、長い時間呼びかけたのは印象的で募金額に大いに貢献したと思ひます。因みに当日の募金額は錦糸町駅北口、南口合わせて。約27万円でした。あらかわ遊園で行った募金は約14万円でした。

大澤ガバナー補佐グループ、高橋ガバナー補佐グループ、安田学園インターアクトクラブ、東京東ロータリーアクトクラブ等々大勢の参加を得てにぎやかにできたのは大変良かったと思ひます。私は実は参加しようかどうかと迷った挙句参加しましたが、結果参加して本当によかったと思ひました。ベイを離れて同じ思いを持った仲間同士声を上げて募金活動をやったのはよかったと思ひました。

10/7, 10/12, 10/28 家庭集会 私はA組、C組に出席 “すみだ”の食事と景色を堪能しながら、会員増強についてあちこちから前向き意見が飛び交っていましたがこれが本当の増強に繋がっていかばいいなと思ひました。

11/17 森さんの紹介で<亘依子氏(ゴルフティーチングプロ)による卓話>

大変好評、質問も活発でたまには元気の出る卓話いいですね。

最後になりましたが、3月9日はオープン例会です。みんなで頑張りましょう。

以上